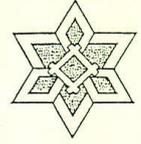


ふくい

舞鶴市立福井小学校

令和6年4月30日発行

(本年度2号)



学校教育目標

自ら学び 豊かな心をもち

たくましく生きる 子どもの育成

春、爛漫・・・元気いっぱい福井っ子

暖かい日差しが降り注ぎ気持ちの良い日が多くなってきました。新学期が始まり一月が経ち子ども達の学校生活も順調です。新1年生は算数科や国語科の「授業」も始まり張り切って学習に取り組んでいます。11日(木)から給食もスタート。配膳から片付けまで自分達で行い、とても上手になってきました。他の学年の子ども達も一つお兄さんお姉さんになったようで、多くの子が学習や掃除、係の仕事などもしっかり出来、元気に活動する姿が見られます。



5・6年体育科・短距離走

4月15日(月)からは家庭訪問をお世話になりました。学級担任にとって1年間のスタートに保護者様とお出合いする事は、家庭と学校が連携する上でも大きな意味があります。お忙しい中お時間を作っていただきありがとうございました。

また、4月27日(土)は今年度初の授業参観を実施し、多くの保護者の方々にご来校いただきました。年度初めの授業参観は子ども達にも特別感がありますが、ちょっと緊張しながらも頑張っていて学習し、とてもよい表情が見られました。

その後のPTA総会や学級懇談会にもご参加いただきありがとうございました。今年度のPTA活動は「思いやり」がテーマです。そこで、スローガンを「㊦㊦㊦㊦㊦㊦」のあいうえお作文で考えられ「㊦思い描く夢のために笑顔の輪を広げよう。㊦目標を持って ㊦いろいろな事に挑戦し ㊦やり抜く力 つながれ！！仲間との絆で ㊦理想の福井小学校へ」となりました。子ども達の楽しい学校生活のために、PTA活動を精選しつつ思いやりのある充実した取組になるようご協力をお願いいたします。

今年は教科書が一新される年です。学習内容は「学習指導要領」に準拠していますが、教材が少しずつ違います。5年生の国語科では「銀色の裏地」という短編の物語教材が新しく採択されました。授業を参観しながら教科書を読んでもみると、子どもの心情を上手に表現している面白い教材でした。作中の女の子が「曇っていても、雲の上には太陽があるから、雲の裏側は銀色に輝いている。だから銀色の裏地を探そう…という歌があるんだって～中略～困った事があっても、嫌な事があってもいい事はちゃんとあるんだって。」と語ります。素敵な話だなあと思って調べると「Look For The Silver Lining」と言う楽曲がありました。1950-1980年代に活躍したジャズミュージシャンであるチェット・ベイカーの作品で、彼の波乱に満ちた人生への想いが詰まっているかの様な曲でした。イギリスの諺(ことわざ)がもとになっているようで、その諺の起源は17世紀のイギリスの詩人、ジョン・ミルトンの「Every cloud has a silver lining (全ての雲には銀の裏地がある→どんな絶望の中にも必ず希望はある)」だとか…。歌詞には「喜びと感謝で胸をいっぱいにすれば悲しみや争いは消える。いつも希望の光を探して…日の当たる方を見て…」と言う一節があります。思い通りにいかない事はたくさんあります。しかし、暗く見える雲の裏側が太陽に照らされ輝いているように、辛い事の反対には銀色に輝くいい事が隠れています。でも、それは自分で探さなければ見つからないのかも知れません。自分を自分らしく輝かせるのも自分自身。子どもが自信を持って自らを輝かせられる学校でありたいです。保護者、地域の皆様には、変わらぬご理解ご協力をお願いいたします。

校長 波多野 暢 教職員一同